

別記様式第6号

産地活性化総合対策事業（国産花きイノベーション推進事業）に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成24年	目標年 平成27年	目標値	達成度合			
青森県	青森県花のくづくり推進協議会	26年度	県産花き産出額を2,165百万円(H24)から2,250百万円(H27)とする。	2,165百万円	1,900百万円	2,250百万円	84%	・フラワーコンテスト等の開催 ・学校、福祉施設等における花育体験	実施回数：フラワーショー(2回) 花育体験：15回	事業計画に基づきフラワーショー、花育体験を所定の回数実施した結果、県内需要が向上し、県内消費量の増加につながったと報告を受けている。 しかし、目標としていた県産花き産出額が、高齢化による一戸当たりの作付面積減少や期待していた新規作付者の増加が少なかったことから目標値に達しなかった。 取組に対する成果目標の設定に無理があったと思慮されることから、県に対し、成果目標の見直しを含め具体的な改善計画を策定し提示するよう求めることが必要。
青森県	青森県花のくづくり推進協議会	26年度	フラワーショーの開催(2回)。	—	26年2回	2回	100%	・フラワーショーの開催	対象者：一般消費者 自作ブーケ披露 大型アレンジメント製作	事業計画に基づき事業を実施した結果、県内一般消費者に対する啓発につながったと報告されている。計画どおり2回開催されていることから、成果目標を達成したと判断する。
青森県	青森県花のくづくり推進協議会	26年度	花壇づくり教室、フラワーアレンジメント体験。	—	26年15回	9回	167%	・学校、福祉施設等における花育体験	対象者：小学生、福祉施設入居者 花壇づくり教室1回(参加人数40名) フラワーアレンジメント教室14回(参加人数485人)	事業計画に基づき事業を実施した結果、学校・福祉施設における啓発につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。

岩手県	いわて花と緑の普及協議会	26年度	平成27年りんどうの栽培面積を285haとする(24年実績を維持)。	285ha	257ha	285ha	90%	・フラワーコンテスト等の実施	対象者：一般消費者 フラワーコンテスト、アレンジメントデモンストレーション等の実施	<p>事業計画に即してフラワーコンテスト等を実施したことにより、生産者の生産意欲向上と、岩手県産りんどうに対する県内実需者及び消費者への啓発につながった。</p> <p>しかし、成果目標の栽培面積維持については、県内一部地域において面積を維持・増加したものの、高齢者が多い産地では離農により面積が減少し、結果的に目標値に達しなかったと報告されている。</p> <p>取組に対する成果目標の設定に無理があったと思慮されることから、県に対し、成果目標の見直しを含め具体的な改善計画を策定し提示するよう求めることが必要。</p>
岩手県	いわて花と緑の普及協議会	26年度	りんどうの仏花以外の利用の認知度向上(アンケートの実施)。	—	85%	70%	121%	・消費者向けアンケート実施	対象：一般消費者424名中360名が評価の回答	<p>事業計画に基づき事業を実施した結果、県内一般消費者に対する岩手県産りんどうの啓発につながったことから、成果目標を達成したと判断する。</p>

宮城県	宮城県花と緑普及促進協議会	26年度	宮城県産花きの生産量の増加（24年実績46千本・千鉢から5%増加）。	46千本・千鉢	47.9千本・千鉢	48.3千本・千鉢	99%	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携への支援 ・フラワーコンテスト等の開催 ・学校等における花育体験教室 	<p>地域協議会の設置・運営（4回） 県花き品評会開催 児童館、小学校を対象に19箇所</p>	<p>事業計画に基づき地域協議会を設置・運営し、花き品評会、学校等における花育体験教室を実施した結果県内生産者の生産意欲向上、消費者等への啓発につながったと報告を受けている。</p> <p>しかし、目標としていた県産花きの生産量増加については、東日本大震災の影響で生産面積が激減し、その後復旧が進み農家一戸当たりの生産規模は徐々に増加しているが、目標年までに生産数量が目標値に達しなかったことから、県に対し、実態に即した成果目標の抜本的な見直しを含め具体的な改善計画を策定し、提示するよう求めることが必要。</p>
秋田県	秋田県花きイノベーション推進協議会	26年度	花きの系統販売実績（JA全農あきた）を5%増加の17億8千万円とする。	16億8千万円	19億9千万円	17億8千万円	112%	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携への支援 ・ダリア輸出可能性調査 ・花き流通システム効率化調査 ・ブライダルブーケコンテスト実施 	<p>協議会の開催：4回 輸出可能性調査：1回 流通システム効率化調査：1回 ブライダルブーケコンテスト：1回</p>	<p>事業計画に基づき、協議会の開催、輸出、流通システム効率化に係る調査、ブライダルブーケコンテスト等を実施した結果、県内外の需要が向上し系統販売実績の増加につながったと報告を受けていることから、成果目標を達成したと判断する。</p>

秋田県	秋田県花きイノベーション推進協議会	26年度	ダリアの輸出数量を27年度に5,000本とする。	—	1,198本	5,000本	24%	・NAMAHAGEダリア輸出可能性調査	ハワイ、香港における現地展示会	<p>事業計画に基づき事業を実施した結果、ハワイ及び香港におけるダリアの輸出に向けた調査を通して現地における状況等を把握することが出来たと報告を受けている。</p> <p>しかし、ハワイの検疫が27年度に非常に厳しくなり、また、香港の需要期(2月、4月)に向けた出荷が少ないなどの理由で出荷本数が目標に達しなかったことから、県に対し、具体的な改善計画を策定し提示することを求めることが必要。</p>
秋田県	秋田県花きイノベーション推進協議会	26年度	花き生産輸送コストを3%低減する。	388円/箱(H25)	442円/箱	—3%	12.2%	・花き流通システム効率化調査	実態調査、実証調査	<p>事業計画に基づき事業を実施した結果、花きの流通の効率化に向けた調査を通じて輸送の実態等を把握することが出来たが、H25年から27年にかけて燃料代の値上げ等により、成果目標である輸送費の低減に至らなかった旨報告を受けている。</p> <p>このことから、県に対し生産コストの分析等実態に即した成果目標の抜本的な見直しを含め具体的な改善計画を策定し提示するよう求めることが必要。</p>
秋田県	秋田県花きイノベーション推進協議会	26年度	ウェディングブーケコンテストを開催し、会場入場者数1,000人、出品数10以上を確保する。	—	1,100人 15点	1,000人 10点	110% 150%	・ブライダルブーケコンテストの実施	県主催の花の祭典、専門学校生と連携したブーケコンテスト	<p>事業計画に基づき事業を実施した結果、県内消費者に対する啓発につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。</p>

山形県	山形県花き生産 連絡協議会	26年度	県産花き産出額70億円とする。	63億円	70億円	70億円	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化の検討・実証 ・フラワーコンテスト等の開催 ・学校、福祉施設における花育体験 	物流の効率化調査：1回 フラワーコンテスト等の開催：1回 学校、福祉施設等における花育体験：1回	事業計画に基づき事業を実施した結果、県内需要、また県内消費量の増加につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。
山形県	山形県花き生産 連絡協議会	26年度	物流効率化・低コストのための規格統一及び出荷資材の改良計画の作成。	—	改良計画の作成	改良計画の作成	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の効率化の検討・実証 	啓翁桜をはじめとした各品目毎の出荷荷姿及び使用資材の統一に向けた改良計画（A4 4枚程度）の作成	事業計画に基づき事業を実施した結果、出荷荷姿及び使用資材統一に向けた改良計画を作成した旨報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。
山形県	山形県花き生産 連絡協議会	26年度	フラワーフェスティバルにおける参加者動員延べ数を2,000名とする。	1,500名（25年度）	2,000名	2,000名	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーコンテスト等の実施 	フラワーフェスティバルにおける品評会、フラワーアレンジメントデモンストラーション、花のせり等のイベントの実施	事業計画に基づき事業を実施した結果、県内一般消費者に対する啓発につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。
山形県	山形県花き生産 連絡協議会	26年度	学校における花育体験推進のアンケート回収率を100%とする。	—	97%	100%	97%	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、福祉施設等における花育体験 	県内小学校生徒107人に対して「2分の1成人式フラワーアレンジメント制作」と題した花育教室を開催	事業計画に基づき事業を実施した結果、学校における花育の啓発につながったと報告を受けている。花育体験が好評であった一方、成果目標であるアンケートの回収について目標に達しなかったことから、県に対し、具体的な改善計画を策定し、提示するよう求めることが必要。
福島県	福島県花き振興 協議会	26年度	県の花き主要品目（りんどう）の出荷数量の3%増加。	3,869千本	4,035千本	3,985千本	101%	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携への支援 ・フラワーコンテスト等の開催 ・学校、福祉施設等における花育体験 	協議会の開催：3回 フラワーコンテスト等の開催：1回	事業計画に基づき事業を実施した結果、県内需要が向上し県内消費量の増加につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。

福島県	福島県花き振興協議会	26年度	花き品評会への出展数100点及びセミナー等への参加人数を50人とする。	一	県花き品評会176点 研鉢花品評会139点 花きセミナー70名	花き品評会100点以上 セミナー等50名以上	176% 139% 140%	・フラワーコンテスト等の実施	チャンピオンズカップ、県花き品評会、兼鉢花品評会、県産花きを用いた花文化展示会の開催	事業計画に基づき事業を実施した結果、県内生産者、関係機関等に対する啓発につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。
福島県	福島県花き振興協議会	26年度	花育体験参加人数を30名とする。	一	1,118名	30名	3727%	・学校、福祉施設等における花育体験	県内小学生17校・1,118名を対象としたフラワーアレンジメントによる花育体験	事業計画に基づき事業を実施した結果、学校における花育の啓発につながったと報告されていることから、成果目標を達成したと判断する。